

～業界をリードする組織へ～

一般社団法人 全国さく井協会 第52回定時社員総会開く

全国さく井協会（会長＝石塚学・㈱アクアジオテクノ社長）は6月26日、都内で第52回定時社員総会を開いた。昨年度の会務・事業の実施状況と、決算・監査報告、会費改定について原案通り承認した。また、今年度事業計画と予算、会員の入退会について事務局から報告があった。

総会の冒頭、参議院議員けんざか茂範氏より「資材価格高騰や担い手不足など、建設産業界を取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。第一次国土強靱化実施中期計画を最大限活用し、防災・減災対策の一層の推進とともに、未来への投資となる社会資本整備を着実に進めていく事が重要です。そして、建設産業を地域の発展と国土の安全を支える産業として、若い世代から選ばれる魅力ある産業にしていく必要があります」と祝電があり、協会のさらなる発展を祈念された。

続いて石塚学会長より「昨年、会長に就任するにあたり、協会の改革を通じて他の団体との差別化を図り、業界をリードする組織を実現すること、その方法として、技術者の育成、社会・経済変化によるニーズへの対応、価格競争から技術競争への脱却、関係団体との協力・連携が重要だと申し上げた。改革を実行するためには、目標を明確にし、成果を検証しながら活動を進めることができる委員会体制の構築が不可欠だと考える。本日は、会費の改定案を上程しているが、お預かりした会費については、会員の皆さまに価値として還元することを重視し、協会の未来を切り開くために活用させていただきたい」とし、会員の理解と協力を求めた。

今年度の臨時社員総会といい井戸の日のイベントは、熊本市で開催する。

政府機関や自治体との関係では、国交省との連携を強化し、要望活動では、災害発生時における避難所の生活用水確保に向けた井戸の設置や平常時における井戸の活用法、街や道路への消雪井戸の設置を提案していく、などの話があり総会を終了した。

今年は懇親会を82名の参加で行い、田村副会長の乾杯発声で歓談に入った。予定の時間は瞬く間に過ぎ、今年度いい井戸の日を開催する九州支部長岩隈副会長より「九州を盛り上げる為に皆様ご協力をお願いします」と述べ、締めめの挨拶で開きとなった。

総会、懇親会に参加いただいた皆様、大変お疲れさまでした。



挨拶する石塚会長



いい井戸の日をアピールする岩隈副支部長